

市政記者各位

令和8年5月22日
福岡アジア文化賞委員会事務局

2026年 第36回 福岡アジア文化賞受賞者決定

アジアの学術研究や芸術・文化の分野で顕著な業績をあげた方を顕彰する福岡アジア文化賞。第36回目となる今年の受賞者3名が決定しました。
授賞式は9月14日(月)に開催予定です。

受賞者一覧

<p>大賞</p>	<p>ホー・ツーニエン (49歳)</p>	<p>アーティスト</p>
<p>映像表現でアジアの歴史と記憶を描き出す現代アーティスト</p>		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東南アジアの歴史や文化を映像や演劇で表現し、植民地時代の記憶やアジアの多様な価値観を伝えてきた現代アーティスト。 ・ 既存映像やアニメーション、VRやAIなどを用いた映像インスタレーションにより、表現と展示の新たな可能性を切り開いてきた。 ・ 映像に加え、演劇や舞台作品にも取り組み、第16回光州ビエンナーレ(2026年)の芸術監督に就任するなど、展覧会づくりにも役割を果たしている。 	
<p>学術研究賞</p>	<p>キャロライン・シー・ハウ (56歳) 東南アジア研究者</p>	
<p>東南アジア社会の人々に未来を選ぶ自由を見出す研究者</p>		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東南アジア社会の人々の経験や歴史に寄り添い、文学研究と地域研究を横断する東南アジア研究者、文芸評論家、作家。 ・ フィリピン社会を対象に、ナショナリズム、エスニシティ、ジェンダーなどの主題を掘り下げ、社会の分断を生み出す構造を多角的に明らかにしている。 ・ 近年は小説や批評的活動を通じて、人々が生き抜いてきた姿に光を当て、分裂の深まる現代世界に力強くも温かい言葉を送っている。 	
<p>芸術・文化賞</p>	<p>ピチェ・クランチェン (55歳) タイ舞踊家、振付家</p>	
<p>アジア舞踊の伝統を現代と世界へつなぐ革新的舞踊家</p>		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ タイの伝統舞踊「コーン」を基盤に、その身体技法と美意識を受け継ぎつつ舞台作品の創作と上演に取り組んできた舞踊家・振付家。 ・ 厳格な伝統様式を大切に継承しながら、現代社会の文脈に即した振付や構成を試み、舞踊を生きた表現として更新している。 ・ 舞踊のもつ文化的背景や身体表現の可能性を舞台上で可視化する実践を通じて、アジアの舞踊文化の発信と発展に重要な役割を果たしている。 	

行事日程(予定)

行事	日程	場所	内容
授賞式	9月14日(月) 18:30~20:00(予定)	福岡市民ホール (中ホール)	授賞式典 パフォーマンス
市民フォーラム	<大賞> ホー・ツーニエン 9月12日(土) 午後	福岡市美術館 (ミュージアムホール)	市民を対象とした 受賞者による講演会等 ※アーカイブ配信あり
	<学術研究賞> キャロライン・シー・ハウ 9月15日(火) 午後	アクロス福岡 (国際会議場)	
	<芸術・文化賞> ピチエ・クランチェン 9月12日(土) 午後	福岡市美術館 (ミュージアムホール)	
学校訪問	9月11日(金) ? 9月15日(火) ※日程調整中	福岡市内の小学校・ 中学校・高校等	受賞者が学校を訪問し、 生徒と交流

※ 授賞式、市民フォーラムのお申し込みは、7月中旬開始予定です。(事前申込制、入場無料)

(参考) 第35回公式行事の様子



問い合わせ先

福岡アジア文化賞委員会事務局(福岡市総務企画局国際部アジア連携課)担当:徳久、山守
 電話:092-711-4930 メール:fukuoka-prize@city.fukuoka.lg.jp
 福岡アジア文化賞ホームページ:<https://fukuoka-prize.org/>
 写真素材ダウンロード:<https://fukuoka-prize.org/presses/materials->

